



より身近な市議会へ

下野市議会議長 小谷野 晴夫

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

昨年中は、議会活動に対しまして、市民の皆さまのご理解とご協力を賜り、円滑な議会運営ができましたことを心よりお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染が世界中へと拡がり、誰も経験したことのない一年となりました。

市民生活の制限や事業所への営業自粛要請などの影響が深刻度を増す中、市内外において昼夜を問わず尽力していただいている医療関係者をはじめ、保健福祉や児童福祉関係者、各種事業所、そして市民の皆さまに心から感謝を申し上げます。

市内においても、小・中学校が春休みを含めて3か月にも及ぶ休業を行いました。また、毎年多くの方が楽しみにしている「天平の花まつり」など、各種イベントやスポーツ大会なども開催することができませんでした。

国による外出自粛の要請による市内の事業所や商

店などへの経済的打撃は、大変に厳しいものでした。6月の定例会において、議会として今できることを考え、感染拡大に伴う非常事態に直面している市民の皆さまに寄り添い、感染症対策に活用していただくよう、7月の議員報酬を30パーセント削減しました。

また、6月に市内両商工会から要望書をいただき、各議員が市内の現状を調査し、議員全員協議会で検討を重ねました。7月には、第2弾のプレミアム付き商品券の発行をはじめ、本市独自の家賃等支援給付制度の創設や、学校の長期休業に伴う児童・生徒に対する支援など、6項目の新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を広瀬市長に提出しました。引き続き市民の暮らしを守り、経済をしっかりと支えるため、議員一丸となり取り組んでまいります。

6月定例会から、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、密集・密接・密閉を避けるため、会議へ出席する職員の制限を行っております。一般質問においては、質問する議員の人数及び時間の制限を行いながら、政策提言、所信を質すなど議会としての役割を果たしております。

本会議及び委員会等の傍聴は当面の間ご遠慮いただき、4階ロビーに設置してあるモニターでご覧いただいております。

また、例年、議会で開催している、市民の皆さまと議員が意見交換を行う「市民と議員の意見交流会」や「議会が主催する講演会」、8月に実施している「中学生議会」、12月定例会の初日に開催している「議場コンサート」も、やむなく中止しました。

今後も皆さまの健康を守り、感染防止に努めるため、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス関連以外では、昨年10月から、ペーパーレス化（紙の使用量の削減）と議会活性化を図ることを目的として、タブレット端末を導入しました。会議の資料等をデータ化することで紙の使用量が削減され、環境負荷の低減につながるものと期待しております。併せて、タブレット端末を用いた情報収集や資料作成など、議員活動の活性化に役立ててまいります。

議会からの広報活動としましては、今までも議会だよりと議会ホームページで情報を発信してまいりましたが、昨年11月からは、それらに加えて、下野市のコミュニティFM「FMゆうがお」で、議会情報を発信するコーナーを開始しました。毎月1回、月曜日に、市政情報番組「しもつけピタッとラジオ」の中で15分の枠を設け、市議会議員が生放送で出演します。議会の取り組みや定例会のご案内など、旬の情報をお届けしてまいりますので、市民の皆さまには「FMゆうがお」をお聴きいただき、議会を少しでも身近に感じていただければと思います。

結びに、新型コロナウイルスの一刻も早い終息と、新しい年が市民の皆さまお一人おひとりにとりまして笑顔あふれる一年となりますよう心からご祈念申しあげ、新年のあいさつといたします。